

松山スマートシティプロジェクト(松山スマートシティ推進コンソーシアム)

■都市課題

- ①歩いて暮らせるまちづくりを進める計画手法・合意形成手法の確立
- ②歩いて暮らせるまちづくりを支える多様な公共交通サービスの提供

■解決方策

様々な交通データ等の集約やシミュレーションによるデータ駆動型都市プランニングの実装により、都市空間改変、次世代モビリティ導入等の次世代都市サービスを提供

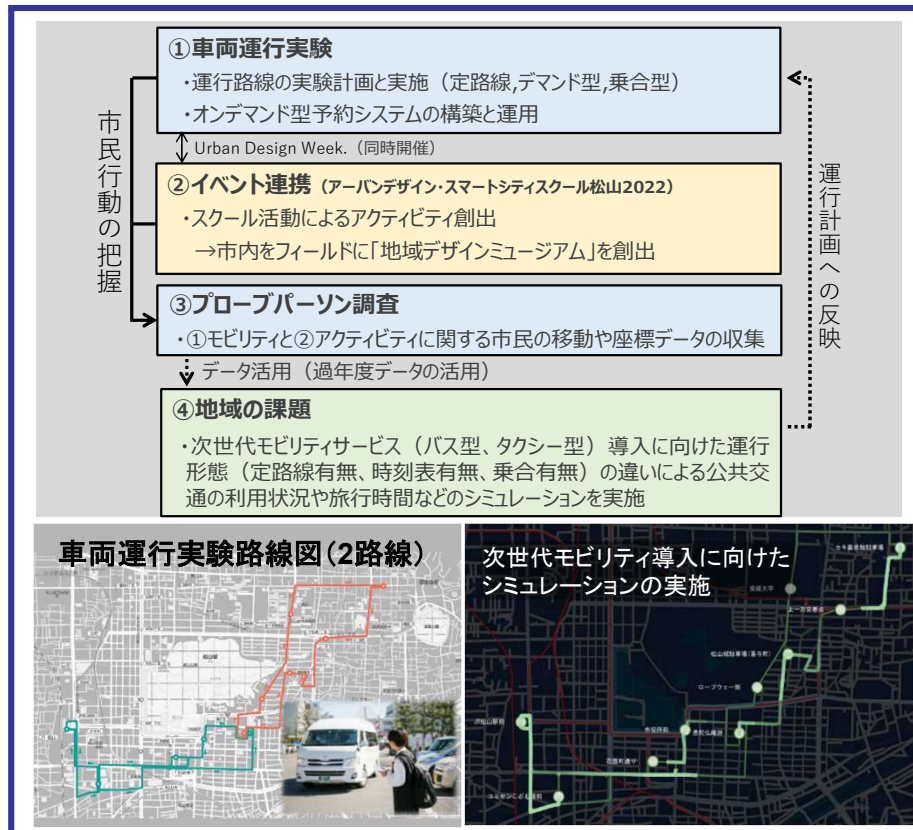
■KPI

- ・トリップ数 3トリップ増(2030年度)
- ・滞在時間 0.5時間増(2030年度)
- ・歩行距離 0.5km増(2030年度)

■実証実験の概要・目的

・都市内イベントと組み合わせた地域公共交通計画の検討やモビリティサービス(バス型、タクシー型)の提供による**歩いて暮らせるまちづくり実現**のため、**車両運行実験及びプローブパーソン調査を実施**するとともに、**行動データを用いたシミュレーションによる評価**を合わせて実施する。

■実証実験の内容



■実証実験で得られた成果・知見

- ①車両運行実証実験
・実現可能性が高い専用ルート型、オンデマンド型サービスの計画と実施
- ②イベント連携
・中心市街地でのスクール事業によるアクティビティ創出とそれを繋ぐ車両運行実証実験の実現
- ③スマートフォンによるプローブパーソン調査
・車両運行実証実験やイベントの有無による属性別の市民の行動実態の把握により、1日のトリップ特性の変化を捕捉
- ④モビリティサービス導入に向けた交通シミュレーションの実施
・運行形態(タクシー型、バス型)の違いによる総移動時間や自動車平均速度などの評価指標の感度を定量的に把握。

■今後の予定

Phase1: 2020-2022

- ・都市データプラットフォームの部分運用
- ・松山都市圏の公共交通利用状況を再現

Phase2: 2023-2024

- ・データのプラットフォームへの提供
- ・可視化による交通事業者への活用

Phase3: 2025

- ・再現シミュレーションに基づく公共交通サービスの再編など最適化の実現